

“つなげよう資源の輪、広げよう地域の和”

# 第9回 えんとつフェスティバル2011

10/8(土)  
午前10時  
午後3時

## みんなおいでよ

主管:えんとつフェスティバル実行委員会  
主催:連絡協議会・小平・村山・大和衛生組合  
後援:小平市、東大和市、武蔵村山市

- フリーマーケット(約40店舗)
  - えんとつミニツアー(清掃工場の見学会)
  - 参加型イベント(クイズラリーなど)
  - 模擬店(焼きそば・わたあめ・ポップコーン・飲み物 他)
  - ステージ(和太鼓、よさこい、バンド演奏などを予定)
  - 参加団体等のブース その他
- \*内容は、都合により変わることがあります。



雨天の場合、9日(日)に順延。  
9日も雨天の場合は中止。  
※ペット類の入場はできません  
※駐車場はありませんので、  
ご来場の際は、徒歩、自転車、  
または、公共交通機関をご利用  
ください。



会場:小平・村山・大和衛生組合  
(小平市中島町2番1号)  
東大和市駅または玉川上水駅徒歩10分

### まちの話題

東大和市立郷土博物館のプラネタリウムでは、直径14メートルのドームいっぱいに映し出された満天の星空を楽しむことができます。12月11日(日)まで(休館日を除く)は、秋番組「スターリーテイルズ」を投影中です。秋の星座解説とともに、幻想的なギリシャ神話の世界や何千年もの星空の旅をお楽しみください。クリスマス時期には特別投影も実施します。学校の授業や保育園・幼稚園などの団体にも利用されているプラネタリウムをぜひご覧ください。このほか、郷土博物館の常設展示室には、はこぶ民具や多摩湖の歴史などが展示され、10月22日(土)からは企画展示室で「植物画展」が始まります。郷土博物館へぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

【お問合わせ】 東大和市立郷土博物館 ☎042-567-4800

### VOICE

#### 編集後記

世界に咲いた、なでしこの花。女子サッカー日本代表が世界一、国民栄誉賞を受賞した。なでしこジャパンのワールドカップ優勝は、日本中に大きな感動と勇気を与えてくれた記憶に新しい出来事ではないでしょうか。

とっぴな姿に驚かされた。震災の映像をチームのメンバーが見ていたエピソードがあり、チームが震災からの復興をよりどころとして、意気揚々いっしょにとっぴな姿に驚かされた。震災の映像を基に、なでしこが震災からの復興に、対してはスポーツ界などあらゆる人々が震災復興に励みや支援する行動が日本はもとより世界中からも起きています。

自分たち何ができるか、それぞれの立場でできることを実行し、日本国民が一丸となって復興に取り込んでいる姿が見られます。

震災により、東日本地域では電力不足が深刻になり、企業をはじめ各家庭でも節電を余儀なくされています。この夏も一人ひとりが工夫し、「節電」に取り組みたいとは思ってはいませんが、こうした行動は、自分自身の生活様式を改めて見直すとともに、今の日本の窮乏をなんとかしていかなくてはならないと捉えた動機といえるでしょう。

「つなげよう」という言葉が震災後よく使われています。人間関係が希薄になったといわれている現代社会ですが、こういふ時こそ地域の和が広がり、ひとに寄り添って絆を深めていくことが求められています。それには、傲慢(ごうまん)な自意識を持つのではなく、相手の立場を考慮して行動する心構えを持つことが大切なのではないでしょうか。

当衛生組合では、今年で第9回を数えるえんとつフェスティバルがいよいよ来月開催されます。つなげよう資源の輪、広げよう地域の和を今年のテーマとし、地域づくりにつなげる思いで開催します。是非お出かけください。

発行 小平・村山・大和衛生組合  
187-0033 小平市中島町2番1号  
電話 042-341-1434  
平成23年9月発行

小平・村山・大和衛生組合は、小平市・東大和市・武蔵村山市3市の市民生活から出るごみを処理する清掃工場を、管理運営する一部事務組合(特別地方公共団体)です。

小平・村山・大和衛生組合

# えんとつ

## No.29

小平・村山・大和衛生組合は、3市のごみを処理している清掃工場です。



## 10/8(土) えんとつフェスティバル 2011開催

### 《No.29主な内容》

- ・22年度のごみ処理状況
- ・衛生組合議会の動き

### まちの話題 東大和市



東大和市立郷土博物館のプラネタリウム  
12月11日(日)まで(休館日を除く)は秋番組を投影しています。詳しくは、4(最終)ページをご覧ください。

# 平成22年度のごみ処理状況をお知らせします。



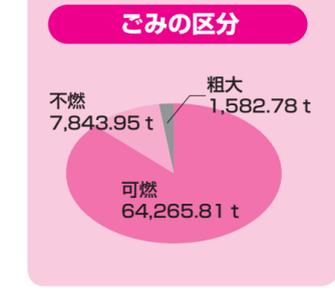
## 搬入量は、919トン減の7万4千トン

ごみの焼却、破砕、選別などが衛生組合の仕事です。ごみの収集やびん、缶、ペットボトルなどの資源リサイクルは、組織市3市（小平市、東大和市及び武蔵村山市）がそれぞれ行っています。また、衛生組合で処理された焼却灰のエコセメント化や不燃物の最終処分（埋立）は、日の出町にある「東京たま広域資源循環組合（多摩地域の25市1町で構成）」が行っています。

平成22年度に衛生組合に搬入されたごみの量は、7万3千693トンで平成21年度の7万4千612トンと比べ919トン、平成18年度（8万1千709トン）と比べても8千16トン（約10%）の減で、人口は増加しているものの衛生組合へ搬入されるごみは減少傾向が続いています。

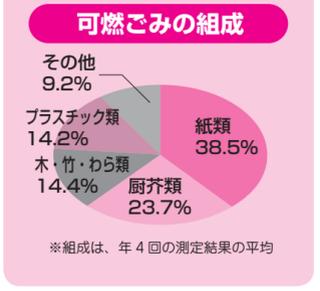
### 可燃ごみ（燃えるごみ、燃やせるごみ）が87%

搬入された7万3千693トンのほとんどが可燃ごみ（87%）です。



### 可燃ごみのうち40%が紙ごみ

可燃ごみの内訳（物理組成）は、紙類が最も多く、次いで厨芥類、木・竹・わら類、プラスチック類の順でした。



### 過去5年の搬入量と3市の人口



### 使用した電力量は一般家庭2,200世帯分

ごみ処理施設を運転するために、年7,543,658kwh（一般家庭2,200世帯分）の電力を使用しました。このほかに、焼却炉の立ち上げ（運転開始時）と停止時に使用する都市ガスが23,124㎡（一般家庭57世帯分）、公害防止のため使用する薬品753tを使用しました。また、ごみの処理（焼却）には排気ガスを冷却するための大量の水が必要で、年間216,254㎡（焼却ごみ量の3倍）を消費しています。冷却水には、主に井戸水を使用していますが、市民が年間使用する水道水に換算すると2,500人分に相当します。

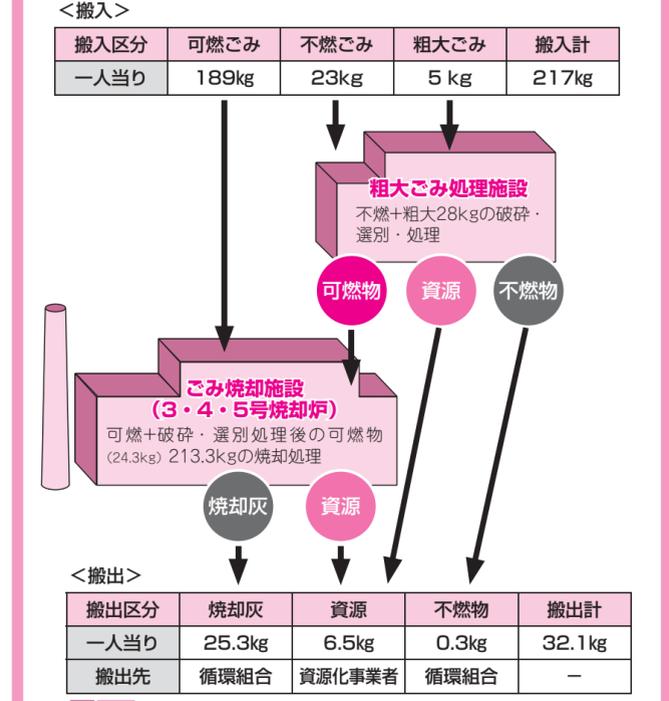


### ごみ処理施設の維持管理、年間予算は16億円

ごみ処理施設を安全で安定的に運転するために、定期補修、改善・改造工事などを実施しています。また、ごみ処理施設は市民生活を支える基盤施設であることから、施設や施設を構成する設備機器の耐用に合わせた、中・長期的な更新事業も計画的に行うことが求められます。これら工事や更新事業の検討にかかると、平成22年度で16億円、市民一人当たり4,700円でした。

### 市民一人当たり換算すると217kg/年

3市の人口は34万人、平成22年度に組合に搬入されたごみの量を、市民一人当たりの量に換算すると217kg/年、内訳と処理の流れは下表のとおりです。



### 25.3kg/年の焼却灰と0.3kg/年の不燃物に

ごみ処理施設で処理されたごみは、焼却灰、資源及び不燃物の3種類に分けられます。資源（鉄やアルミなど）は資源化事業者により再利用、焼却灰と不燃物は、東京たま広域資源循環組合（循環組合）に運びます。循環組合では、焼却灰をエコセメントとして資源化し、不燃物は二ツ塚処分場に埋立をしています。衛生組合のごみ処理施設によって中間処理されることにより、搬入された217kgのごみは、焼却灰25.3kg（11.7%）、不燃物0.3kg（約0.14%）に減量化されます。

### ごみ処理施設の稼働状況

不燃ごみ・粗大ごみの処理  
不燃ごみと粗大ごみは、粗大ごみ処理施設において破砕し、細かく砕かれた破砕ごみを、鉄類・アルミニウム類（資源化）、可燃物（焼却）及び不燃物（埋立）に選別しました。  
粗大ごみ処理施設は、平日の昼間に運転し、運転日当たり平均43.8tの処理を行いました。

可燃ごみの処理  
3号炉を主力炉として運転し、併せて4・5号炉をごみ搬入量の季節変動との調整を図りつつ効率的に運転しました。  
ごみ焼却炉は、24時間の連続運転で、各炉は運転を始める2ヶ月から6ヶ月間、運転し続けます。年に1日、電気点検のため全炉を停止しますが、その他の日はいずれかの炉を（通常は2炉）運転し、1日平均199tの可燃ごみ及び破砕・選別処理後の可燃物を処理しました。

施設の種類	項目	能力※	運転日数(日)	処理量(t)
粗大ごみ処理施設	3号炉	150t/日	266	33,930
	4号炉	105t/日	244	20,213
	5号炉	105t/日	223	18,324
ごみ焼却施設	焼却量計	360t/日	-	72,468

※粗大ごみ処理施設の能力(1/5H)は、平日の昼間5時間運転したときの設計能力。ごみ焼却施設の能力(1/日)は、24時間連続運転したときの設計能力です。(焼却量は四捨五入のため合計と一致しません。)

### みなさんの清掃工場を見学してみませんか

衛生組合では3市から収集された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを処理していますが、その量は1日当たり202t（平成22年度）にもなります。各家庭から出されたごみはその後どのように処理されていくのか、ごみの分別がなぜ大切なのかなど、清掃工場を見学しながら学んでみませんか？  
○通常の見学コースの所要時間は90分程度です。  
○見学できる日は、祝日を除く火・水・金曜日です。  
○見学には事前予約が必要です。申込先は、総務課 ☎042-341-4345)までお願いします。

### 小平・村山・大和衛生組合議会の動き

定例会は、年2回（2月と11月）開催され、臨時会は、必要に応じて開催されます。平成23年5月31日（火）当組合内4・5号炉3階大会議室において、平成23年5月臨時会が開催されました。また、最近建設された2施設を視察しました。

◆副管理者、助役、監査委員（議員選出）の選任  
組合議会5月臨時会において、尾崎 保夫氏（東大和市長）が組合副管理者に選任されました。また、助役には新たに昼間 守仁氏（小平市副市長）が、監査委員（議員選出）には須藤 博氏（武蔵村山市議会選出）が6月1日付で選任されました。

◆組合議員の改選  
組合議会は、小平市、東大和市、武蔵村山市の各市議会からそれぞれ4名ずつ選出された議員計12名で構成されています。このたび、3市の議員改選により新たに組合議員が選出されました。また、5月臨時会において、議長に中間 建二議員（東大和市議会選出）、副議長に高橋 弘志議員（武蔵村山市議会選出）が選出されました。

### 小平・村山・大和衛生組合特別職の紹介

管理者	小林 正 則 (小平市長)		
副管理者	尾崎 保 夫 (東大和市長)	藤野 勝 (武蔵村山市長)	
助 役	昼間 守 仁 (小平市副市長)		
監査委員	舛 川 博 昭*1 (議員有する者)	尾崎 実 (議員有する者)	須藤 博 (議員選出)

※1 代表監査委員。

議会議員		
小平市議会選出	東大和市議会選出	武蔵村山市議会選出
立 花 隆 一	尾 崎 利 一	木 村 祐 子
日 向 美 砂 予	中 野 志 乃 夫	須 藤 博
細 谷 正	中 間 建 二【議長】	高 橋 弘 志【副議長】
宮 寺 賢 一	中 村 庄 一 郎	田 口 和 弘

### ごみ処理事業に関する連絡協議会について

「小平・村山・大和衛生組合のごみ処理事業に関する連絡協議会」（連絡協議会）は、ごみ処理施設周辺地域住民（小平市中島町12自治会及び立川市幸町6丁目並びに幸町団地自治会）と小平・村山・大和衛生組合及び組織市（小平市、東大和市、武蔵村山市）の課長職職員で構成され、衛生組合のごみ処理事業について相互の意見交換及び連絡調整を図ることを目的に平成10年10月に設置されました。連絡協議会は、2ヶ月に1回程度開催されており、会議日程はホームページでお知らせしています。会議の傍聴を希望される方は、衛生組合 計画課 ☎042-341-4345)までご連絡ください。(先着順10人まで) また、会議の結果（議事録）は、広報「えんとつ」地域版に掲載し、この地域版はホームページにも掲載しています。ホームページの「連絡協議会」のページをご覧ください。なお、広報「えんとつ」地域版をご希望の方は、衛生組合 計画課 ☎042-341-4345)までご連絡ください。

### 焼却灰等の放射能濃度及び空間放射線量の測定結果

衛生組合では、環境省及び東京都の通知に基づき、焼却施設から発生する焼却灰（主灰・飛灰）の放射性物質と施設の敷地境界の空間放射線量の測定を実施いたしました。測定結果は下表のとおりです。主灰・飛灰の放射性物質すべての測定値で、国が示す埋立処分を可能とする暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。なお、今後も放射能濃度の測定を定期的に実施し、ホームページで公表していきます。

測定方法  
(1) 主灰、飛灰、排ガスの放射能濃度  
ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線測定  
(2) 空間放射線量  
シンチレーション式サーベイメータ

測定箇所	試料採取日	測定項目		測定結果	
		放射能濃度	放射線量	主灰	飛灰
主灰※1	7月9日	放射性ヨウ素	I-131	不検出	Ba/Kg
		放射性セシウム	Cs-134	194	
			Cs-137	254	
飛灰※2	7月9日	放射性ヨウ素	I-131	不検出	Ba/Kg
		放射性セシウム	Cs-134	1,005	
			Cs-137	1,246	
排ガス	7月9日	放射性ヨウ素	I-131	不検出	Ba/m <sup>3</sup>
		放射性セシウム	Cs-134	不検出	
			Cs-137	不検出	
敷地境界	7月9日	空間放射線量 (3回測定平均値)	東	0.08	μSv/h
			南	0.09	
			西	0.07	
			北	0.08	

※1 主灰は、焼却炉の灰出設備から排出される灰  
※2 飛灰は、焼却炉の集じん器(バグフィルタ)で捕集された灰

### ◆視察の報告

衛生組合では老朽化した粗大ごみ処理施設の更新が喫緊の課題となっています。また長期的な課題としての焼却施設の更新もあります。そこで今回の行政視察は、「建設計画をスタートさせるまでの経緯」や「稼働後の施設運営」といったところを中心に視察しました。

### ■静岡市沼上資源循環センター

施設概要	敷 地	24,454.27㎡
	延床面積	不燃・粗大ごみ資源化棟 …………… 約4,300㎡ ペットボトル・スラグ資源化棟 …… 約2,200㎡ 啓発施設 …………… 約1,300㎡ 約39億円
	事業費	約39億円
	工期	平成20年2月～平成23年5月
	処理能力	不燃・粗大ごみ …………… 100/5h ペットボトル …………… 5t/5h 溶融スラグ*1 …………… 55t/5h

### 施設職員の説明

○昭和50年から稼働していた沼上清掃工場粗大ごみ処理施設に替わるものとして、環境への負荷が少ない廃棄物処理システムの構築を目指し、出来る限りごみの資源化・減容化が図れるなど、資源循環型社会に適合した中間処理施設として建設した。  
○建設においては、平成19年4月に自治会の役員に説明したあと、地元住民を対象に説明会を開催した。なお、地元住民とは40年近く良好な関係を保っている。  
○啓発施設では、基本方針に基づき4R\*2に関する情報発信や啓発・支援、環境教育を行っており、静岡市環境大学を開設し、市民の環境意識の向上及び環境学習のリーダーの養成を目指している。



### ■浜松市西部清掃工場

施設概要	敷地面積	66,960㎡
	延床面積	14,729㎡
	事業費	135億9,540万円
	工期	平成17年5月31日～平成21年1月31日
	処理能力	一般可燃ごみ …… 450t/日
	処理方式	キルン式ガス化溶融炉
	発電機出力	9,600kw



### 施設職員の説明

○PFI\*手法の導入の可能性調査を行い、プラントメーカーやコンサルタント等による経済性の調査を実施し、PFI手法による事業推進を決定した。  
○自治会役員が毎年交代してしまうため、平成14年度に地元自治会とは別の組織の促進協議会を設置し、月1回協議した。また、促進協議会とは別に、地元住民には年1回説明会を開催した。  
○現在の西部清掃工場が老朽化し建て替える必要に迫られることを見越して、将来の更新用地が確保されている。

\*用語解説  
\*溶融スラグ：廃棄物や下水汚泥の焼却灰等を1,300℃以上の高温で溶融したものを冷却し、固形化させたガラス状の物質。建設資材や土木資材として活用することができる。  
\*4R：排出抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再使用(リサイクル)、発生抑制(リフューズ)。  
\*PFI：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

### ダイオキシン類の測定結果

ごみ焼却施設  
ごみの焼却に伴い発生する排ガス等に含まれるダイオキシン類の測定は、各炉年1回実施します。

測定項目	排出ガス	焼却灰	ばいじん(飛灰)	ガス冷却ダスト	排出水	汚泥		
単位	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	ng-TEQ/g	ng-TEQ/g	ng-TEQ/g	pg-TEQ/l%	ng-TEQ/g		
基準値								
	1	(3)	(3)	(3)	10	(3)		
3号炉	試料採取日	平成23年6月21日	0.025	0.013	0.19	0.0089	0.050 試料採取日 H23.6.22	0.36 試料採取日 H23.6.22
		平成23年5月27日	0.036	0.012	0.63	0.26		
		平成23年6月22日	0.025	0.012	0.22	0.44		

(注)基準値は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく排出基準値。なお、焼却灰、ばいじん(飛灰)、ガス冷却ダスト及び汚泥の( )内の値は、薬剤処理等を実施する判断基準値です。  
<単位・記号の説明>  
1ng(ナノグラム)は、10億分の1グラムです。1pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムです。TEQ(毒性等量)は、毒性により異なるダイオキシン類の毒性の強さを、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシン類の毒性に換算して表した量です。mN(ノルマル立方メートル)は、摂氏0度、1気圧の標準状態における気体の体積(立方メートル)を表します。

### 環境大気

衛生組合では、立川市清掃工場と連携して、清掃工場周辺の大気中のダイオキシン類濃度の測定を、夏季と冬季の年2回実施しています。平成22年度冬季分は、平成23年2月2日から2月9日の間、連続で試料を採取しました。

測定地点	大気環境基準	測定結果			
		平成22年度(冬季分)	平成22年度(夏・冬平均)	平成21年度(夏・冬平均)	
衛生組合測定	0.6以下	東大和市立第二小学校	0.047	0.035	0.043
		小平市立中島地域センター	0.039	0.031	0.030
		小平市立上米新町地域センター	0.044	0.033	0.030
		立川市立けやき台小学校	0.058	0.035	0.030
立川市清掃工場測定	0.6以下	立川市立立川第四中学校	0.050	0.032	0.029
		立川市立若葉小学校	0.032	0.028	0.028
		立川市若葉児童館	0.050	0.037	0.023

(注) 大気環境基準は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく、大気汚染に係る環境基準です。